



静岡 陸協 会報

第 22 号 (2017年 9月12日 発行)

一般財団法人
静岡陸上競技協会

〒420-8508
静岡市葵区鷹匠 1-14-31
吉野寿ビル 2F
TEL・FAX 054-253-9801



静岡陸上競技協会
会長 北澤 晴樹

「就任にあたって」

去る六月二十日に静岡陸協の会長を拝命しました。鈴木修元会長・和田隆保前会長に引き続き、規約に則って中部陸協選出の私が静岡陸協の会長に選出されました。

二〇一四年六月に静岡朝日テレビの社長として静岡に転勤してから、早くも三年が過ぎました。

生まれは昭和二十四年で北海道三笠市と言う炭鉱町で高校時代まで過ごし、ました。

大学で東京に出てきてもう半世紀になります。この六月で六十八歳になりました。

昭和四十七年にテレビ朝日に入社し、静岡に転勤するまでの四十三年間勤めました。

この間スポーツ局長、スポーツ・報道担当役員などを経験してきました。

高校・大学を通じて陸上競技を経験したことが無く、陸上競技に付いては全くの素人です。(嬉しいことに中学生の孫が一〇mハードルを始めています)

テレビ朝日に入社してカール・ルイスやブブカが活躍した「TOTOスーパー陸上」に携わったことや、「全日本大学駅伝」や「旧・東京国際女子マラソン」「福岡国際マラソン」の事業運営・放送に関わって来ました。お世話になった学連の

関岡前会長も昨年急逝され、また、当時一緒にやっていた元朝日新聞社の石沢隆夫さん(元一〇〇m日本記録保持者)も先日若くして急逝されました。

大変残念です。ご冥福を祈ります。さて、二〇二〇年オリンピック東京大会まであと三年に迫りました。昨年のオリンピック・リオデジャネイロ大会では静岡県登録・出身選手が八名も代表として参加しました。

特に飯塚翔太選手がメンバーとして参加した四×一〇〇mリレーは銀メダルを

獲得し、日本中に感動を与えました。東京大会にもリオ大会以上の代表選手を送り込み、リオ大会以上の成果を上げることがを期待します。

また、今後松山での国体や駅伝など大きなイベントが続くこととなりますが、静岡県は東京オリンピックを見据えて「スポーツ王国しずおか」を標榜していきます。

我々静岡陸協には「追い風」であり、またこの「追い風」に乗って行かなければなりません。飛躍するためのチャンスと言えます。

選手の育成・競技の運営など陸協の皆様には大変ご苦労を掛けていますが、三年後を見据え若いチカラに期待したいと思います。

新米会長ですが静岡陸協のために尽力して行きますので、皆様方のご支援・ご協力を何卒宜しくお願いいたします。



静岡陸上競技協会
理事長 新谷 誠規

挨拶

日頃より静岡陸協にご理解とご支援を賜り、心から感謝いたします。

静岡陸協の一般財団法人化にとまない会長・理事長が西部、中部、東部の持ち回りとなりました。今年度は改選期にあたり、中部からの選出となりました。

一般財団法人静岡陸上競技協会の定款の「目的」には、「当法人は、静岡県の陸上競技界を統括し、代表する団体として静岡県の陸上競技の普及と振興、並びに競技力向上を図り、もって県民の心身の健全な発育・発達に寄与することを目的とする」と謳われております。この目的に沿い、良かれと思われる事業は積極的に実行し「元氣な静岡陸協」を目指し努力していきたいと思えます。

これからも静岡陸上競技協会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

前期事業報告

六月二十日に改選されたこともあり、報告が中途半端になりますので、年度末にまとめて報告をしたいと思います。

各都道府県の医事委員会組織の中で数県になっていたドクター不在県が解消されることになりました。

医事委員会ドクター名

飛鳥井 光(あすかい みつる)

勤務先 JA静岡厚生連遠州病院

診療科目 整形外科

※ 森下西部理事長の教え子で、磐田南高校時代は陸上部(棒高跳)に所属し活躍された。

浜松医大卒

全国医事委員会での貴重な情報を県下の指導者に周知すると同時に、障害予防や、治療に積極的にかかわり、競技者に対するサポートを積極的に行いたいという言葉をいただいております。

なお本県陸上協会の組織名はスポーツ医科学委員会(委員長 齋藤史門)となっております。

任期満了にともなう役員改選のお知らせ

(○印は新任)

会長 ○北沢晴樹

副会長 ○池田 毅 ○望月紘一

理事長 ○新谷誠規

副理事長 ○神山心一 末高義美

評議員 森下哲治

眞下達夫 ○梶 壽雄

福良勝巳 佐藤常保

村松義明 ○村上 馨

荒川 功 山下眞里

山口嘉一

大原一夫 小林和幸

石野吟策 岩本壤児

神谷晃尚 松井清和

○土屋洋治 ○西島信弘

木下佳彦 西尾 誠

岩田佳久 望月勇志

堀之内大 佐々木茂雄

小川富男 原田洋一郎

○横山邦宏 筒井計臣

杉井将彦 ○竹井嘉樹

森 洋平

会長氏名理事

高体連理事 川口雅司

中体連理事 桑原良成

マスターズ理事 ○田中正延

パラ陸上理事 杉山金吾

監事 ○今野佐十 石上雅宏

外波山雅章

事務局長 大原一夫

総務委員長 石野吟策

競技委員長 永田勝久

審判委員長 井出幸夫

強化委員長 吉田健一

普及委員長 豊田博幸

情報システム委員長 三枝宜男

施設委員長 久保田金也

記録委員長 赤堀順一

広報委員長 ○水谷陽介

スポーツ医科学委員長 齋藤史門

第七十二回

県陸上競技選手権大会、選手権者

(7/8・9・エコパ)

男子

一〇〇m

10秒58 小川拓夢(常葉大)

二〇〇m

21秒28 小川拓夢(常葉大)

四〇〇m

47秒43 油井快晴(順天堂大)

八〇〇m

1分54秒95 矢部泰志(駿河A.C)

一五〇〇m

3分53秒37 眞田 翼(中央大)

四×四〇〇mリレー

3分15秒40 東海大翔洋高

走り高跳び

2 m 09 小池 輝(順大院)

棒高跳び

5 m 20 笹瀬弘樹(スズキ浜松A.C)

走り幅跳び

7 m 92 大岩雄飛(スポウエルA.C)

三段跳び

15 m 38 加藤真生(常葉大)

砲丸投げ

12 m 99 奥野 柁(東海大翔洋高)

円盤投げ

44 m 01 中村一裕(駿河A.C)

ハンマー投げ

68 m 03 植松直紀(スズキ浜松A.C)

やり投げ

72 m 10 塩川航平(中央大)

女子

一〇〇m

11秒99 渡邊ひかる(駿河台大)

二〇〇m

24秒27 渡邊ひかる(駿河台大)

四〇〇m

54秒89 松本奈菜子(筑波大)

八〇〇m

2分11秒98 中谷桐子(磐田南高)

一五〇〇m

4分31秒73 朝日春瑠(富士市立高)

五〇〇〇m

17分19秒52 丸山智子(富士高)

一〇〇m H

13秒71 藤森菜那(明治大)

四〇〇m H

1分01秒91 鈴木優花(磐田南高)





望月知葉 (藤枝明誠高)

- ・三〇〇m S C
- 11分11秒20
- 県高校新・大会新 稲岡菜月(静岡東高)
- ・五〇〇m W
- 25分08秒67 富田千春(浜松商高)
- ・四×一〇〇mリレー
- 46秒80 駿河台大
- ・四×四〇〇mリレー
- 3分48秒56 駿河台大
- 走り高跳び
- 1 m 77 山本愛純(グランチエ静岡A C)
- 棒高跳び
- 3 m 83 大会新 鈴木里菜(日体大)
- 走り幅跳び
- 5 m 83 中津川亜月(浜松市立高)
- 三段跳び
- 11 m 91 長倉 瞳(筑波大)
- 砲丸投げ
- 12 m 89 増田奈緒(中京大)
- 円盤投げ
- 40 m 56 影山絢香(大体大)
- ハンマー投げ
- 50 m 44 武川美香(スズキ浜松A C)
- やり投げ
- 49 m 96 県高校新



幌陸協) が23秒91で優勝。

五月三日、エコパスタジアムで、第三十三回静岡国際陸上競技大会(日本グランプリ)兼、第十六回ロンドン世界陸上代表選手選考会が行われた。海外より十二名、国内より、四十名の招待選手を招き、熱い戦いを演じた。男子二〇〇mでは、シヨン・マックリン選手(アメリカ)が20秒49で優勝。飯塚翔太選手(ミズノ)は20秒50で二位。世界陸上参加標準に0秒06届かず。男子八〇〇mでは、川元奨選手(スズキ浜松A C)が1分47秒36で優勝。二位の村島匠選手(順天堂大)は、1分47秒46で、日本歴代十位、学生歴代五位の好記録を出した。

男子砲丸投で、中村太地選手(チームミズノ)が18m55の大会新で優勝。18m55は大会新で日本歴代三位。二位の宮内育大選手(桜門陸友会)も大会新、日本歴代八位タイの17m91を記録した。女子二〇〇mでは、福島千里選手(札幌陸協)が23秒91で優勝。

静岡国際陸上競技大会

その他、サブイベントとして小学生、中学生のリレー種目なども行われ、スタンドや応援席から大きな声援がスタジアムに響いた。



静岡陸上競技協会顕彰受賞者

- 1、特別功労者表彰
和田降保
鳥井啓市
- 2、永年勤続功労者表彰
橋本美智夫
- 3、功労者表彰
安藤昌史
砂原 晋

- 新谷誠規
稲垣泰三郎
伏見大吉
山下一夫

4、日本記録樹立者表彰

- 飯塚翔太(ミズノ)
リオデジャネイロ・オリンピック四
×一〇〇m R 37秒60 日本新・ア
ジア新
川野将虎(御殿場南高校)

- 広島県央競歩一〇〇〇m W 40分
39秒99 日本高校新
5、優秀選手表彰
中村明彦(スズキ浜松A C)

- 日本選手権混成競技十種競技
8180点優勝
鈴木里菜(日本体育大学)
日本学生棒高跳 3 m 90優勝
馬場未空(浜松大平台高校)

- 全国高校定通制砲丸投 8 m 71優勝
6、公益財団法人日本陸上競技連盟二〇
一六年度中学生・高校生優秀選手章
〔中学生〕 松本英紳(三島南中学校)
〔高校生〕 川野将虎(御殿場南高等学校)

- 日本陸上競技連盟S級審判委嘱者
杵無通代(長泉町)、清野裕章(西伊豆町)、
千田文男(裾野市)、舟本繁(御殿場市)、
朝比奈洋子(静岡市)、稲木行雄(藤枝市)、
大村英輔(静岡市)、岸義弘(藤枝市)、
玉川彰一(島田市)、横山邦宏(浜松市)



編集後記

今年も暑い日が続く中、上半期に予定されていた大会は順調に消化されました。

小学生の全国交流大会でのがんばり、中学生の全国標準記録突破者の活躍、高校生の全国高校総体での入賞など、それぞれの選手が目標に向かって頑張っている様子が伺えました。

また、ロンドンで行われた世界陸上競技大会で、静岡県ゆかりの選手たちが大活躍した姿は子供たちにとって大きな刺激になったと思います。

〔編集〕

県陸協広報委員長・県陸協事務局

○水谷陽介（編集・文責）

・橋本美智夫（編集委員）

○写真（陸協報道 太田和幸）

（印刷・大日三協株）

Photograph

○静岡県選手権大会

○静岡国際陸上大会

